

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	4	B	20122039	斎藤 真誇人

レポート(5)で開発する API を使ったシステムについて企画、要件定義を行ってください。ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。本レポートにおける要件定義項目は、本来の要件定義項目から抜粋した簡易な内容になっています。

種別（API 開発 + アプリ開発なのか、API 連携からのサービス開発なのか識別するため必須）

どちらかに○をつけること

独自 API 開発 / ○API 連携

業務要件

概要

Glide を使った日本猿を飼育している動物園検索アプリ

背景

自分は霊長類のことを調べるのが趣味なのだが、日本猿を調べているうちにホンダザルとヤクシマザルに分類されていることがわかった。動物園ではどちらが多く飼育されているのかというのが気になったのと、動物園で餌やり体験ができるかを一覧できるサイトが調べた限り無かったことに着目し、餌やり体験ができるかどうかを調べられるようにしたら便利なのではと思い制作を開始した。

目的

最寄りの日本猿が飼育されている動物園を検索し、それに加えて餌やり体験を実施しているかなどもわかるようにしたい。

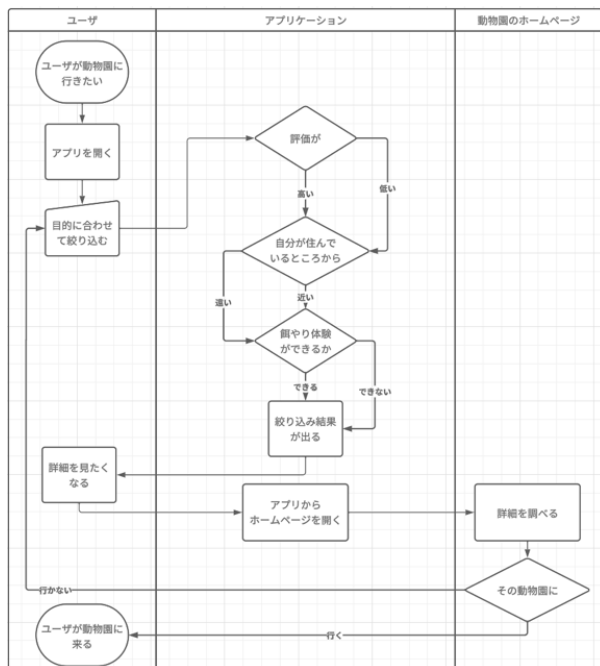
動物園によく行く人がいつもは行かないところに行くきっかけになれば良い。

またそれに加えて家族でこれから動物園に行きたいが最寄りの動物園がわからない人などがこのアプリを使うことによってどんな動物園が周りにあるか、子供が餌やり体験で楽しめるかなどを調べられるようになることも目的としている。

想定利用対象者

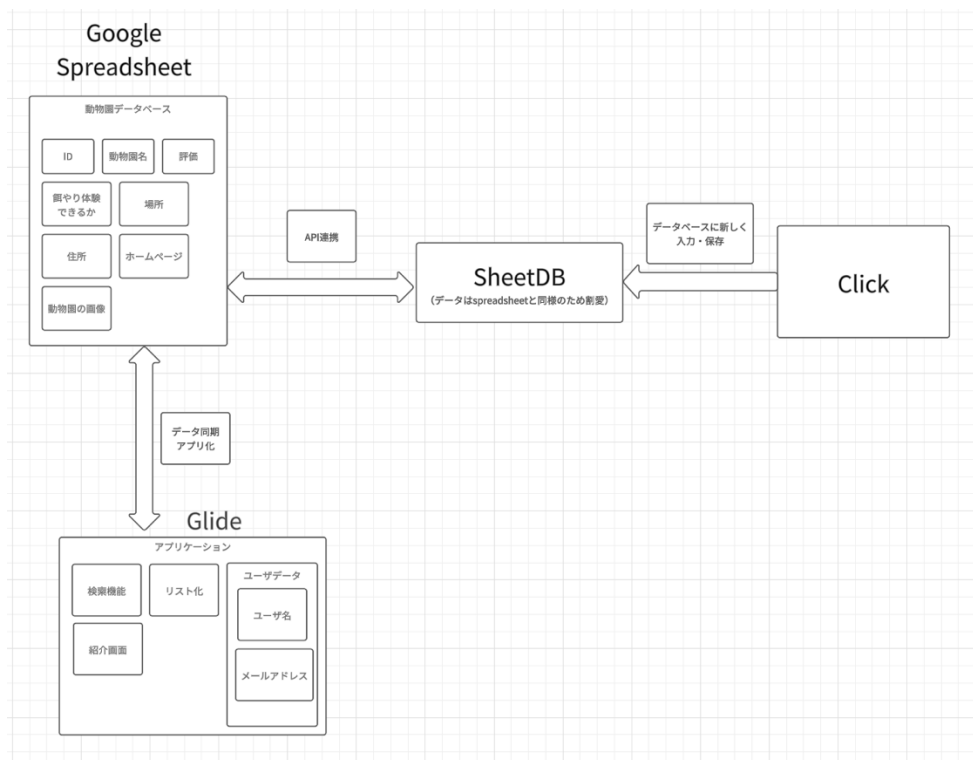
- ・動物園によく行く人
- ・これから動物園に行く予定の世帯主もとい家族
- ・動物園に興味がある人

業務フロー



機能要件

システム構成図



使用外部サービス一覧

- Glide : Google Spreadsheet からデータを持ってきて画面表示する
- Google Spreadsheet : SheetDB と同期し、Glide にデータを送る

- Sheet DB：動物園のデータベース（ID、動物園名、餌やりの有無などを記載）
- Click：SheetDB に新規でデータを送る際に使用する。

想定画面

画面一覧

- メインメニュー(Glide)
- 動物園検索画面(Glide)
- 各動物園の紹介画面(Glide)
- 新規データ入力画面(Click)

画面レイアウト

Glide



メインメニュー（画像左上）、動物園検索画面（画像右上）、動物園紹介画面（画像左下）

Click



Android Small - 1

データ新規登録

動物園名

評価

餌やり体験の有無

場所

ホームページURL

画像リンク

追加

データ新規登録画面

データ定義（API 開発している場合は必須）

テーブル一覧

非機能要件

拡張性

- ・新しく建てられた動物園の追加
- ・紹介画面での詳細部分の追加（評価、場所などの部分を追加する）
- ・それに伴った絞り込み項目の追加
- ・Glide の有料プランに入ることによる一般ユーザの増加などのパフォーマンス向上

稼働環境

システム側

API 連携サービス名：Glide

Click

利用プラン：Glide：free プラン

Click：free プラン

Glide の free プランの概要

アプリページ：最大 3 ページ

編集者数：最大 2 名

ホワイトラベル：なし

ユーザー数（サインインしていない人）：無制限

一般ユーザー数：10 人

個人ユーザー数（非公開アプリにサインインできる人数）：3 人

使えるデータソース：Glide Tables、Google spreadsheet、Excel、Airtable

プロジェクトあたりの行数：500 行

アップデートの行数：1000 行

ファイルストレージ：200MB

Click のフリープランの概要

レコード数：100

容量：100MB

API 制限：100req/min

カスタム API：50 回/月

利用者側(クライアント環境)

推奨環境

推奨ブラウザ：Google Chrome, Safari

PC

OS：Windows 10 以上

MacOS Sonoma(14.1.1)以上

必要容量：2GB 以上

スマートフォン・タブレット

iOS/iPadOS 14 以上

Android 10 以上

必要容量：2GB 以上

保守

- ・動物園のデータを新しく追加した場合、バックアップをその都度新しく作っておく

以下の内容を一か月に一度自分が実施する

- ・各種データ（評価、場所、餌やり体験の有無）に間違いがないか、または変更があったかを確認する。

- ・画像のリンクが正しく動作しているかを確認する
- ・ホームページの URL を押した際に移動できるかを確認する
- ・それぞれ動作しなかった場合、URL やリンクを貼り直すなどの復旧作業を行う